

姫路市 部活動地域移行に係るアンケート調査 結果報告〈概要〉

- I 学校部活動アンケート(健康教育課)
- II 競技団体アンケート(スポーツ振興室)

姫路市

「学校部活動アンケート調査」結果

全国の子どもたちが求める
文化・スポーツ活動とは何か？

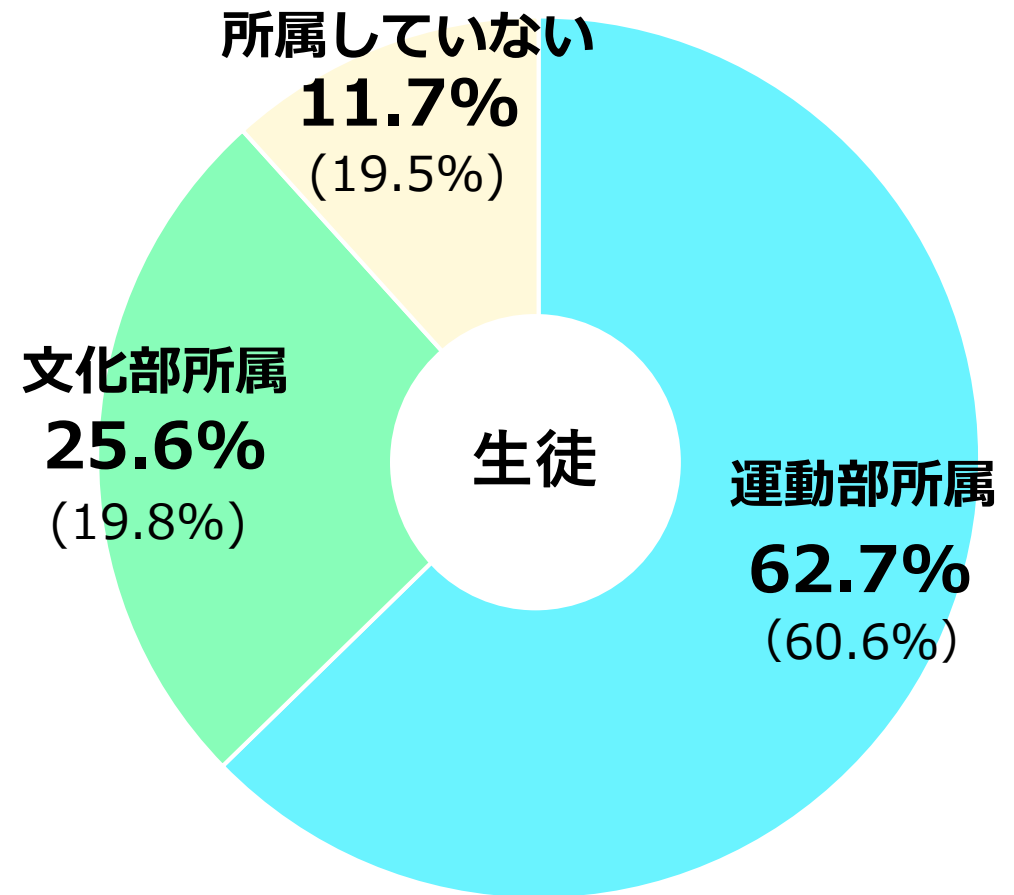
— イマチャレ1万人アンケートの結果から —

イマチャレ製作委員会



データ概要

- 期間：2023年7月～8月
- 対象：中学1～2年生及び保護者
(全国は中学1～3年生)
- データ数 (姫路市)
生徒 5,136名 保護者 2,226名
- 全国データ数
生徒 12,335名 保護者 5,090名
大津町、加賀市、北谷村、黒潮町、
静岡市、須賀川市、名護市
真岡市、宮崎市、読谷村 (五十音順)



※ 各自治体で調査を実施し、匿名化したデータを取得

() は全国データ

部活動アンケート結果の【概要】

テーマ1 部活動の実態

テーマ1：部活動の実態

■ 姫路市の日数・時間の平均

	運動部		文化部	
	平日	休日	平日	休日
日数	4.1 日 / 週 (5日 16.8%)	1.0 日 / 週 (2日 3.4%)	3.2 日 / 週 (5日 8.9%)	0.4 日 / 週 (2日 2.4%)
時間	2h12 min / 回 (2h以上 43.3%)	2h36 min / 回 (3h以上 63.1%)	2h00 min / 回 (2h以上 26.3%)	1h12 min / 回 (3h以上 32.6%)
総時間数	523 h / 年		310 h / 年	

※ 年45週で計算、総授業時間数は850h、 () 内はガイドラインを超えている割合

テーマ1：部活動の実態（全国）

■ 全国の部活動の日数・時間の平均

	運動部		文化部	
	平日	休日	平日	休日
日数	3.1日 /週 (5日 17.3%)	1.1日 /週 (2日 9.2%)	3.4日 /週 (5日 12.7%)	0.5日 /週 (2日 2.9%)
時間	2h06min /回 (2h以上 32.3%)	2h36min /回 (3h以上 58.5%)	2.0 h /回 (2h以上 24.6%)	1h24min /回 (3h以上 37.5%)
総時間数	410 h / 年		338 h / 年	

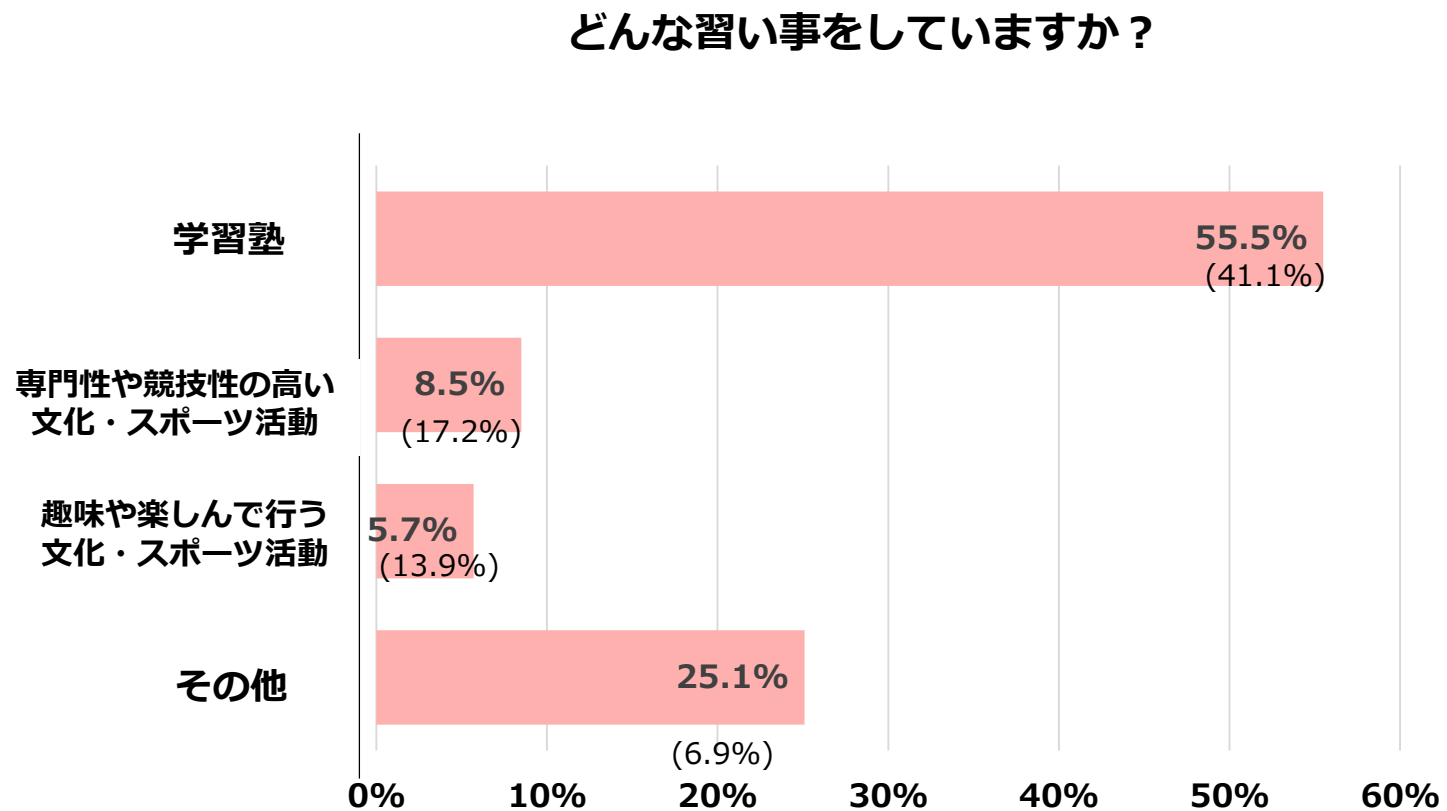
※ 総授業時間数は850h、（ ）内はガイドラインを超えている割合

テーマ1：部活動の実態

■ 学校以外の習い事（学習塾・地域クラブ等）の日数・時間、及び内容

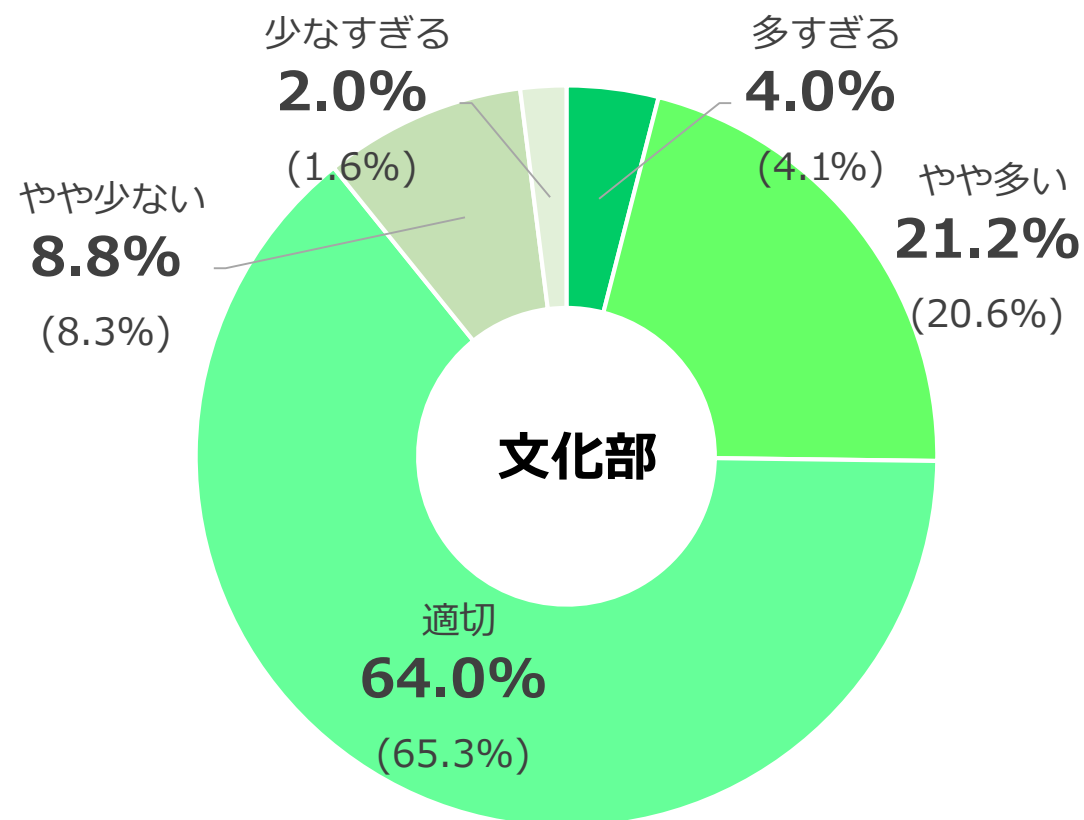
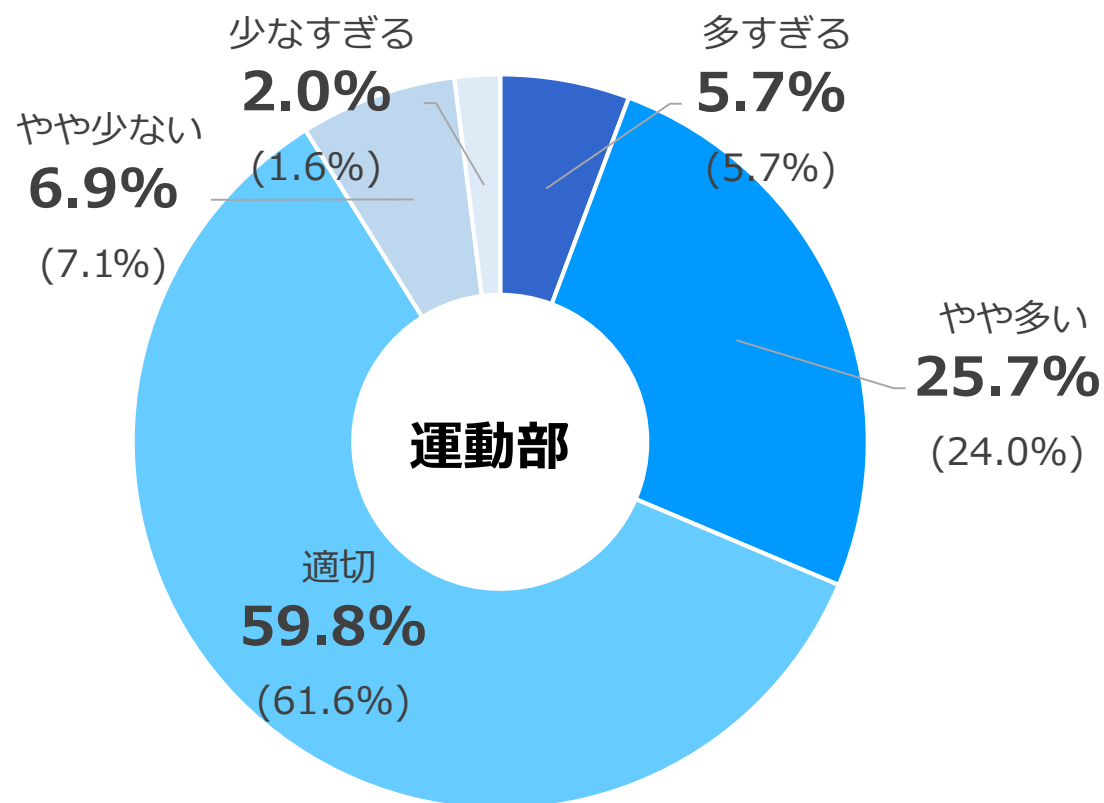


※ 年45週で計算、総授業時間数は855h



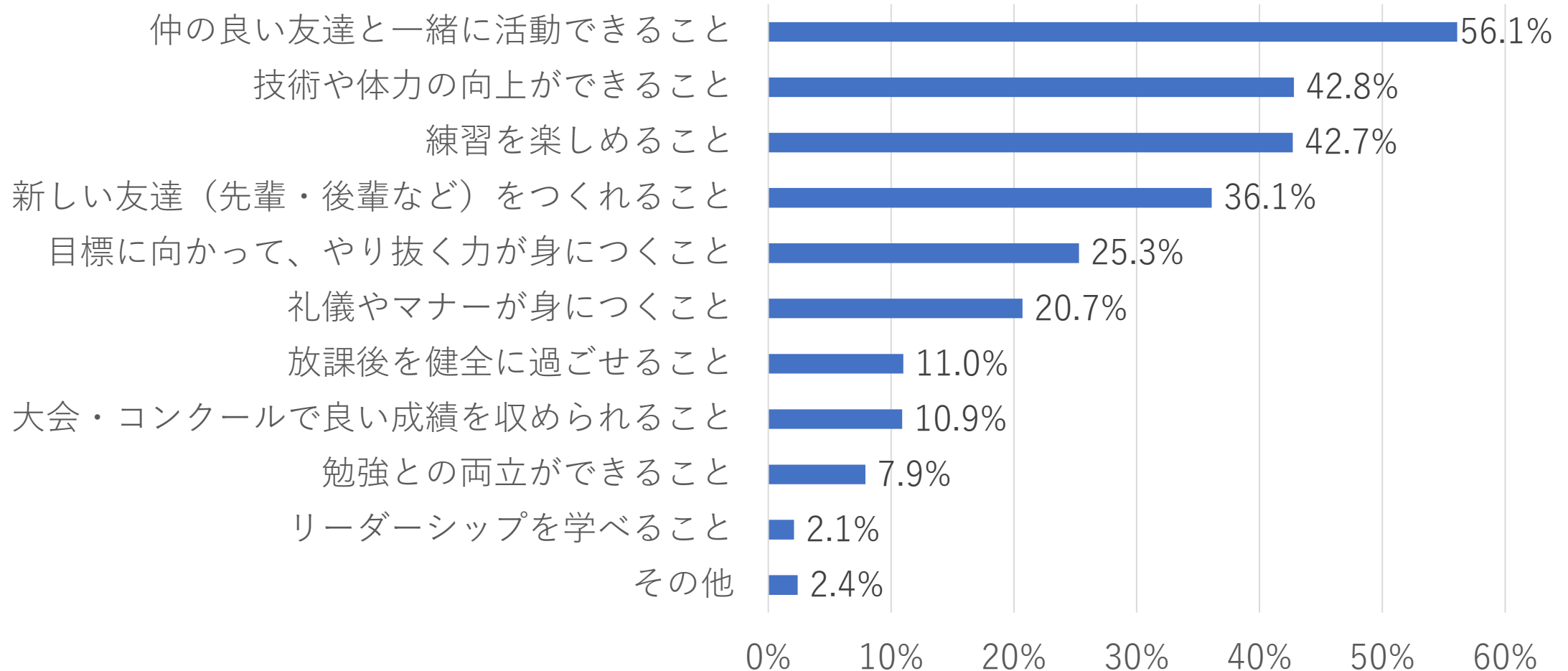
テーマ1：部活動の実態

- 学習や趣味、家族や友人との時間を含めて、心身ともに健康でバランスの取れた生活を送っていくために、**現在の活動量（時間や日数）は適切だ**と思いますか？



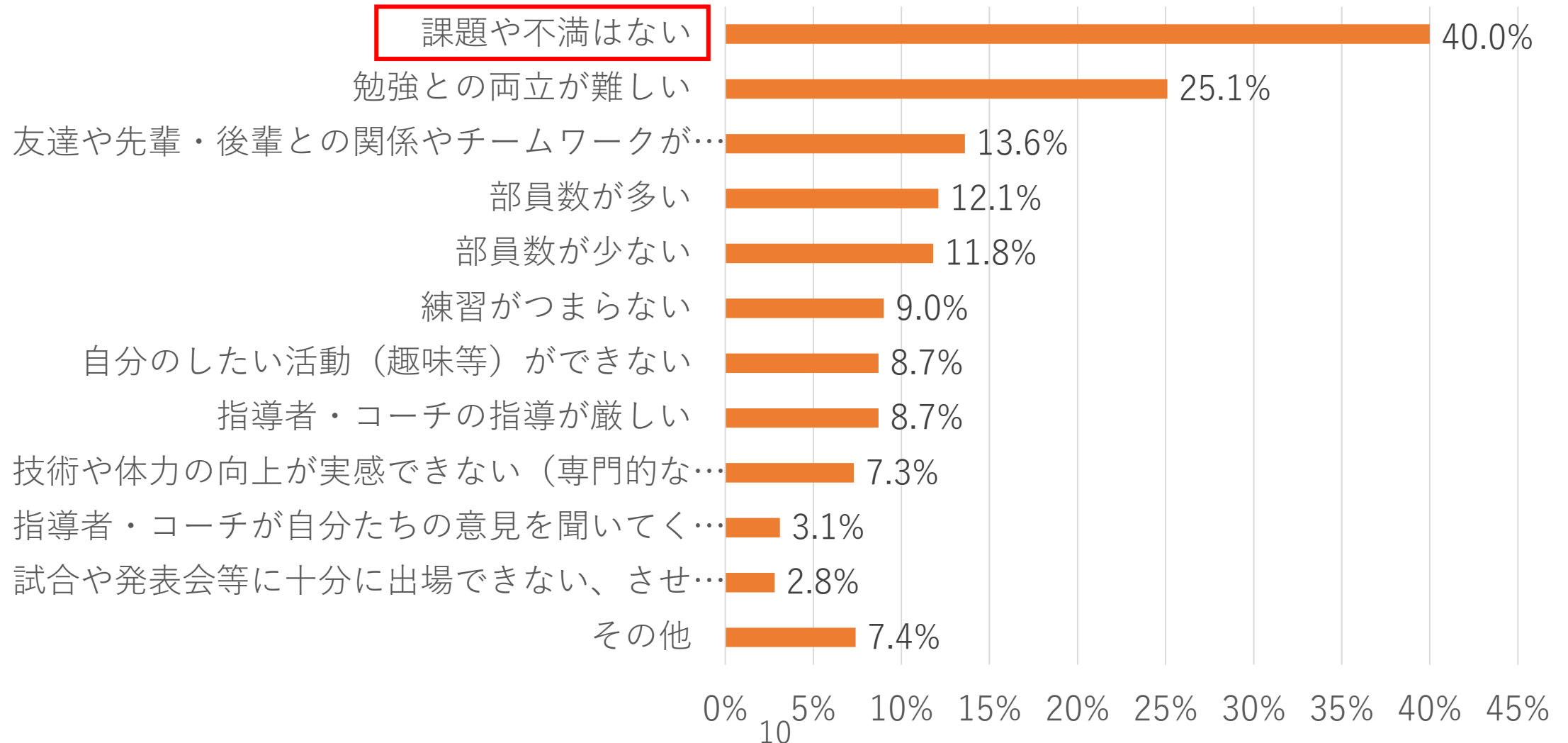
テーマ1：部活動の実態

■ 今の部活動の良いところ、満足しているところを教えてください。（最大3つまで）



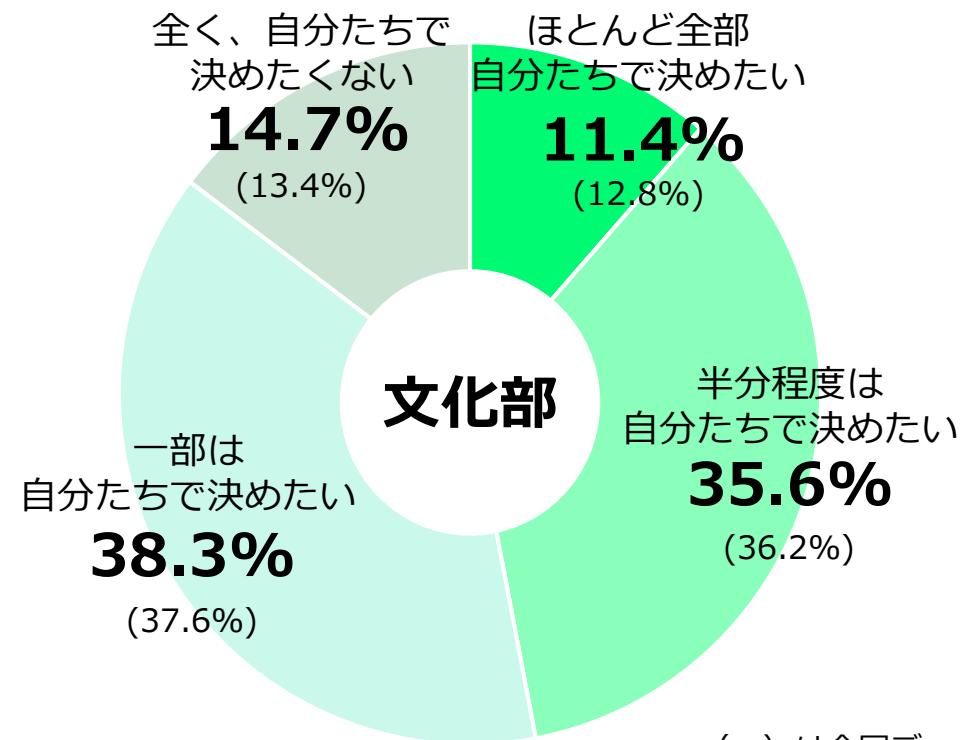
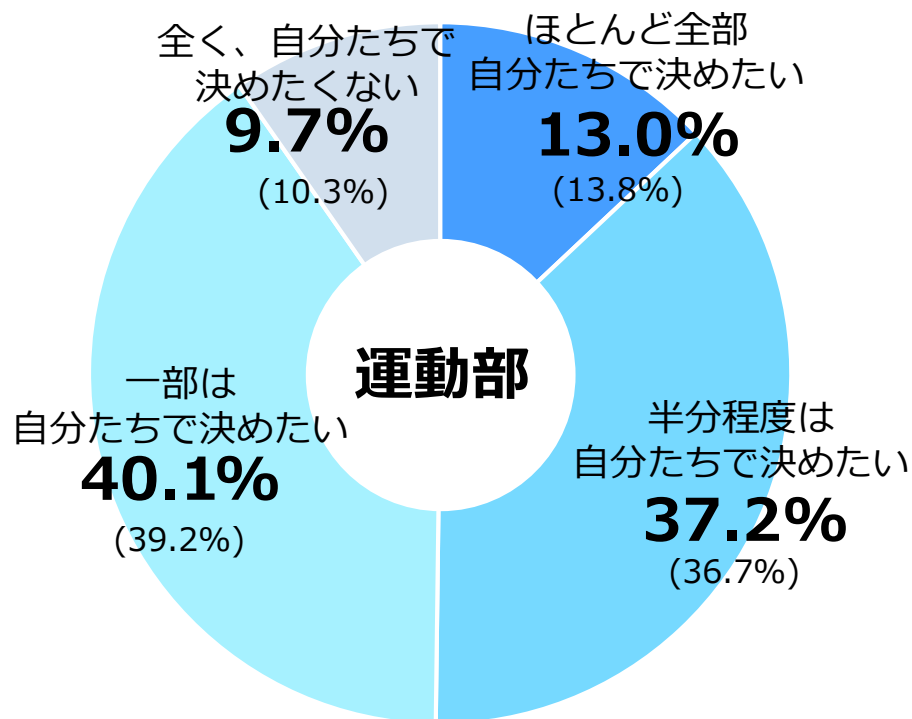
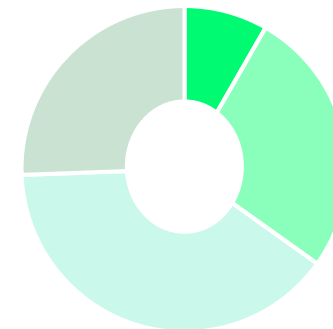
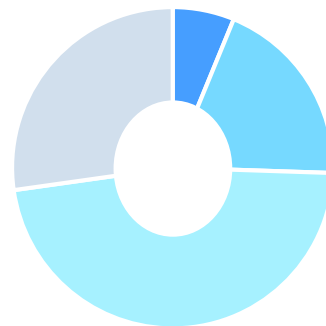
テーマ1：部活動の実態

■ 今の部活動の課題や不満なところを教えてください。（最大3つまで）



テーマ1：部活動の実態

■ 練習の時間や内容、試合のメンバーなど、部活動において自分たち（生徒同士）で決めたいと思いますか？



テーマ1：部活動の実態

- 「運動部＋学外の習い事」で平均769h/年の活動をしている（総授業時間：850h/年）
- 約30%の生徒が現在の活動量（時間・日数）が「多い・やや多い」と感じている
（約60%は適切と感じている）
- 部活動の良さ：「仲間」「体力・技能の向上」「楽しめること」
- 部活動の課題や不満：「課題や不満はない」が最も多い
- 活動内容について「全く自分たちで決めていない」生徒が25%程度いる
（→約90%の生徒が「自分たちで決めたい」と思っている）

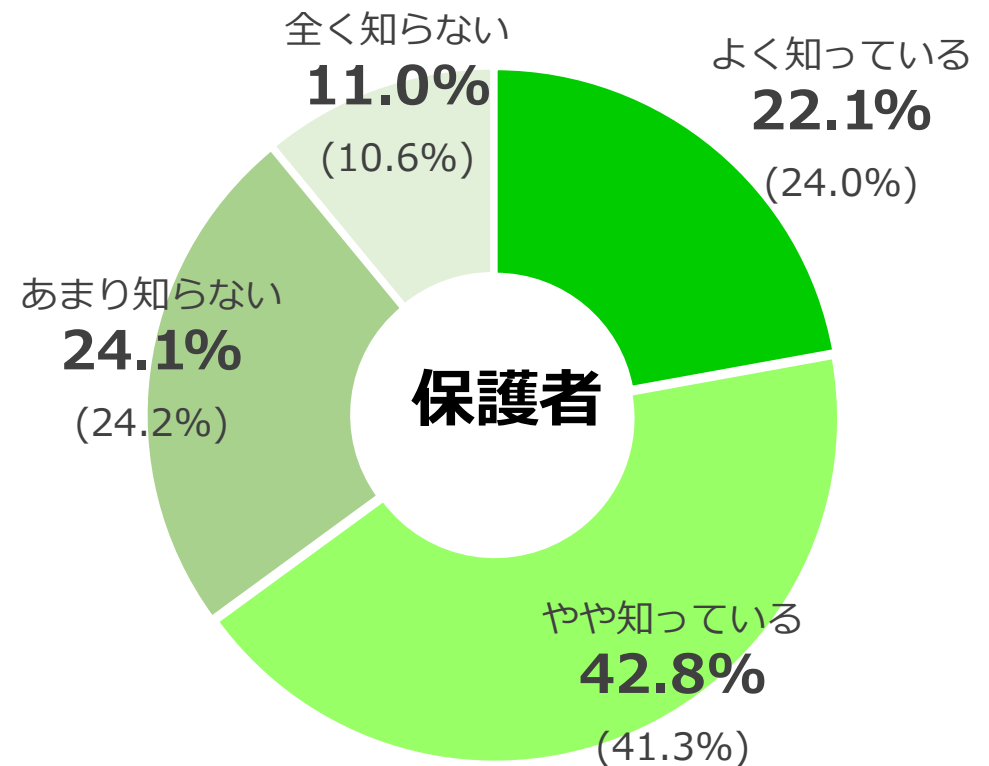
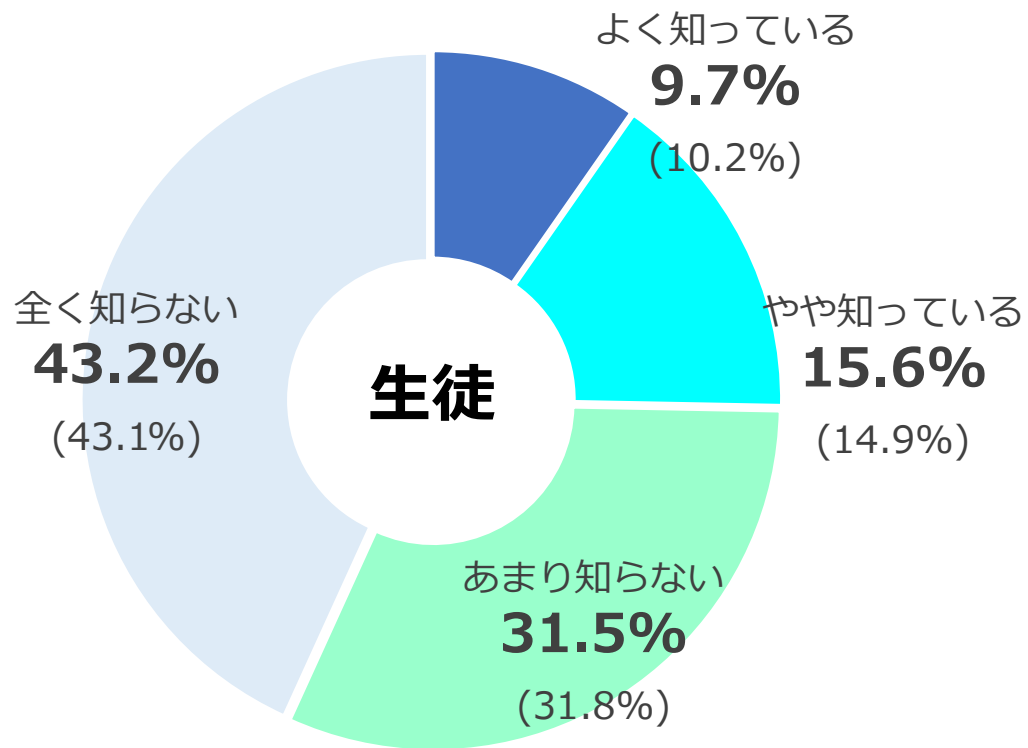
部活動アンケート結果の【概要】

テーマ2

新たな地域クラブ活動の実現に向けて

テーマ2：新たな地域クラブ活動の実現に向けて

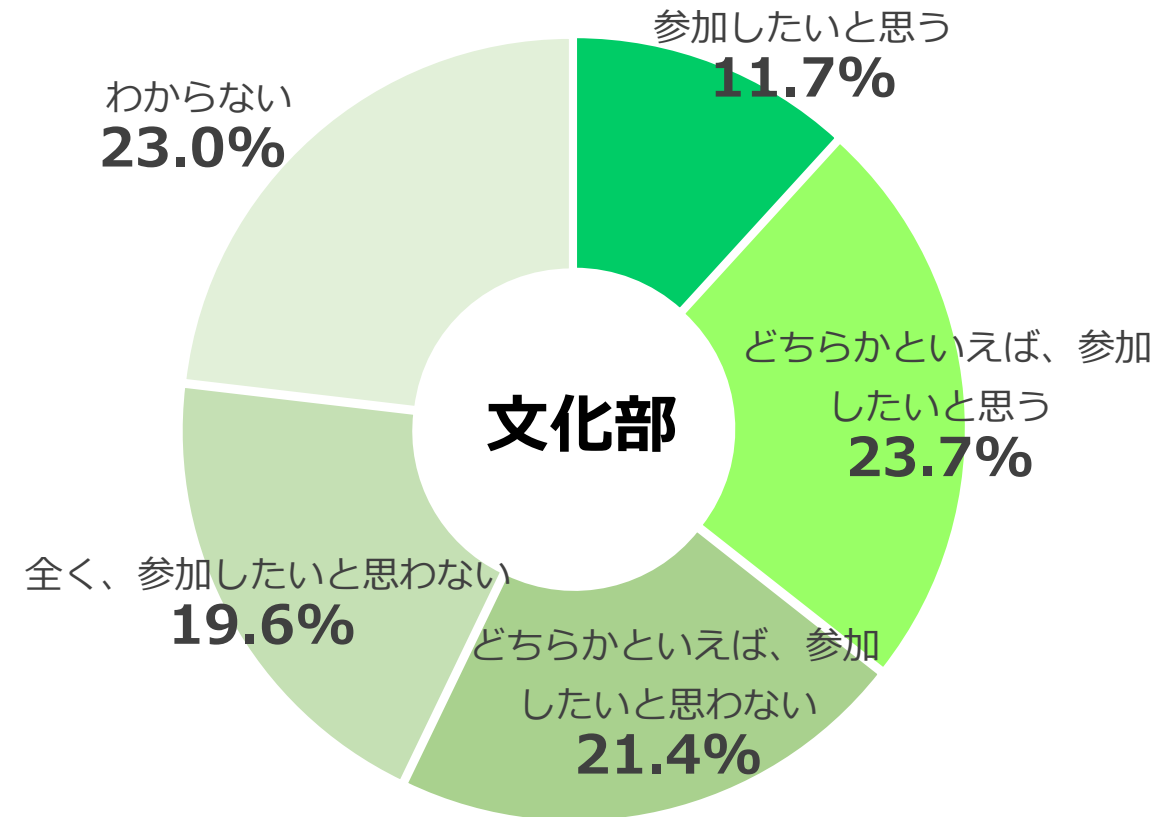
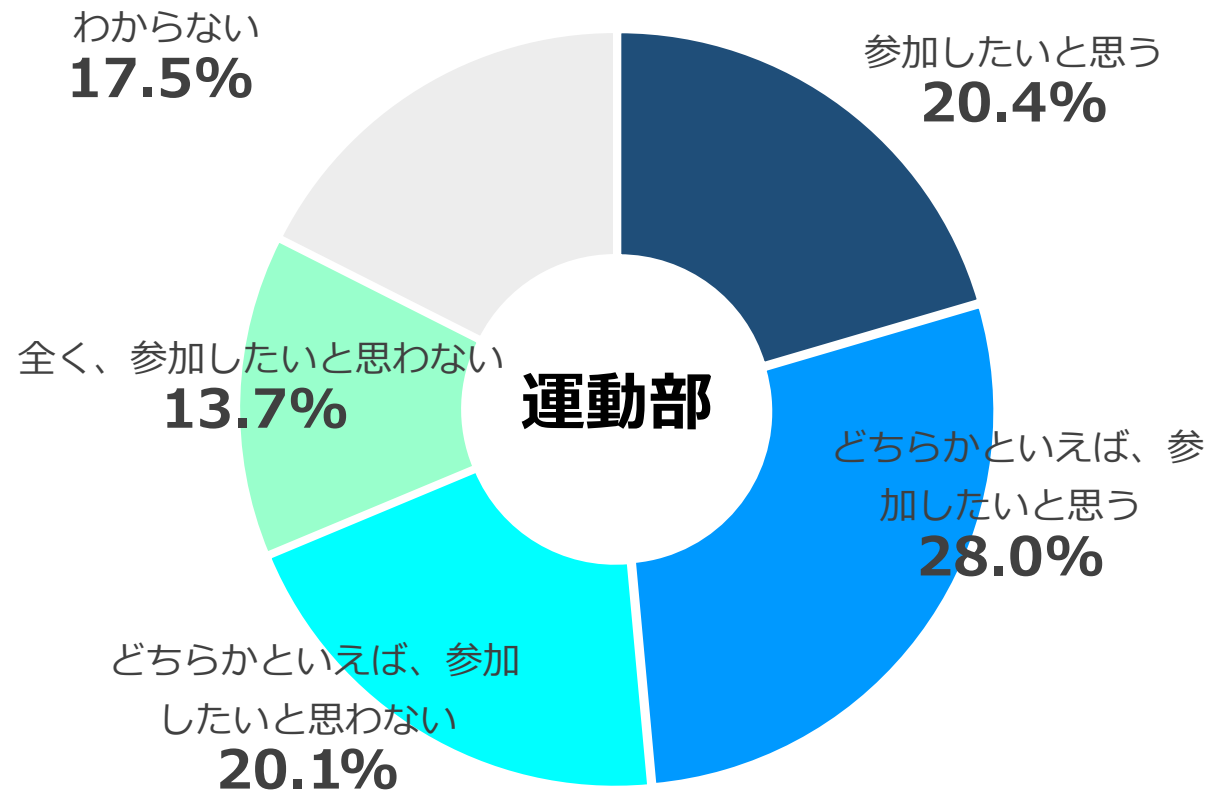
- スポーツ庁・文化庁では、休日（土日、祝日）の部活動の地域移行を令和7年度末までに推進しています。そのことについて知っていますか？



() は全国データ

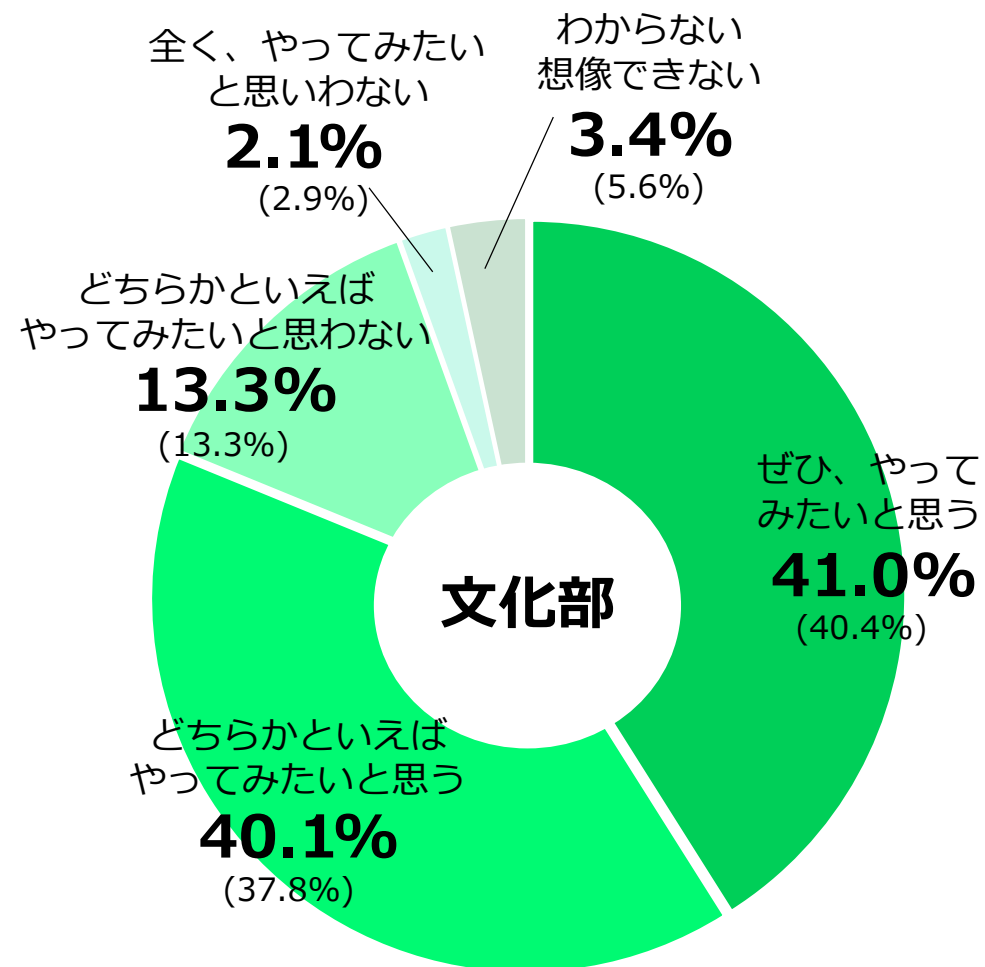
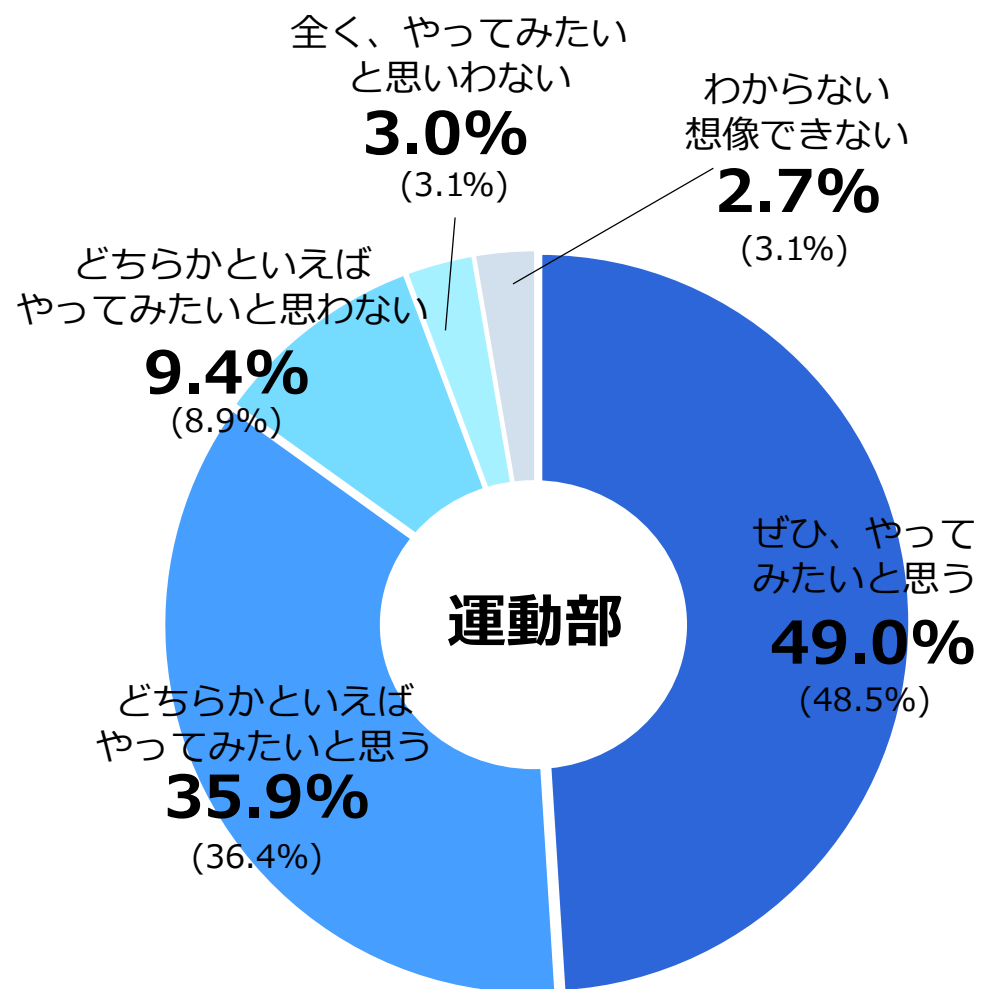
テーマ2：新たな地域クラブ活動の実現に向けて

- もし、現在の部活動の活動量（時間や日数）が今より少なくなったとしたら、今行っている部活動以外に、**地域で他の活動に参加したい**と思いますか？



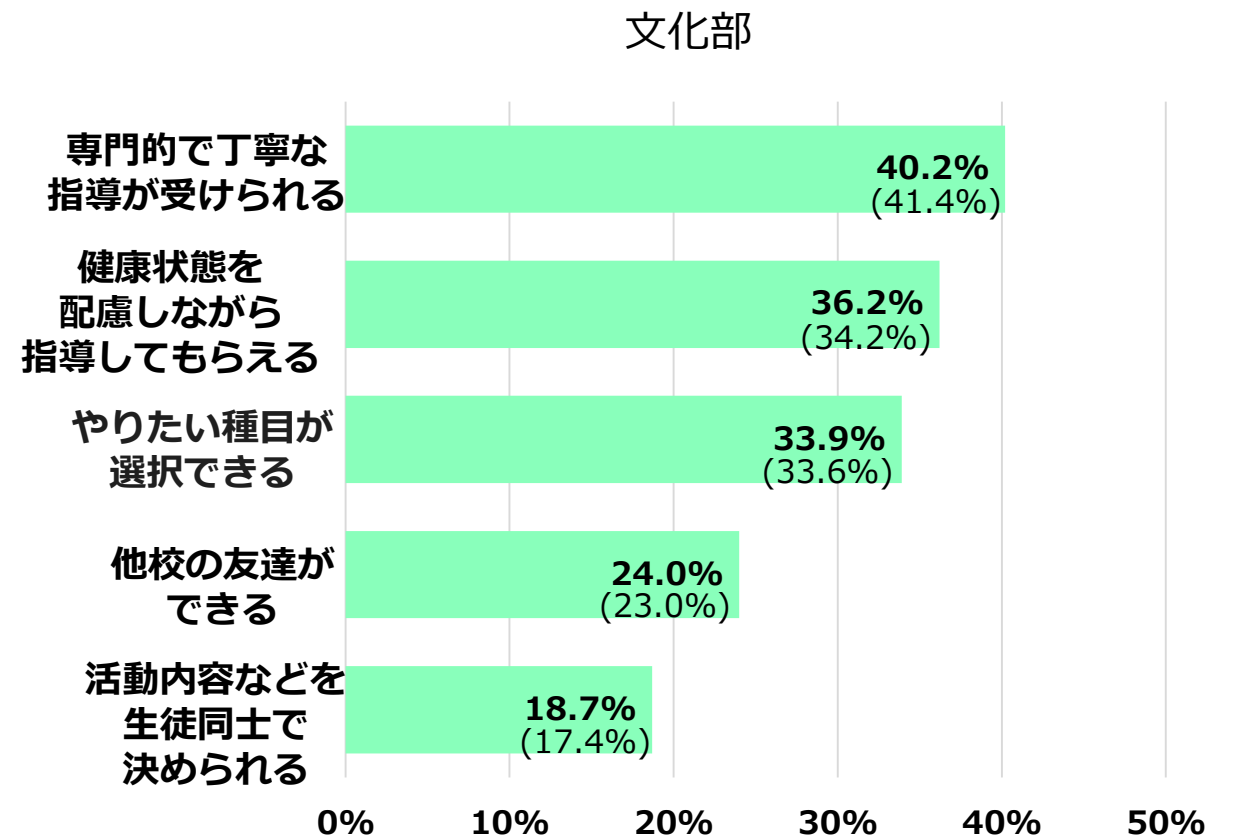
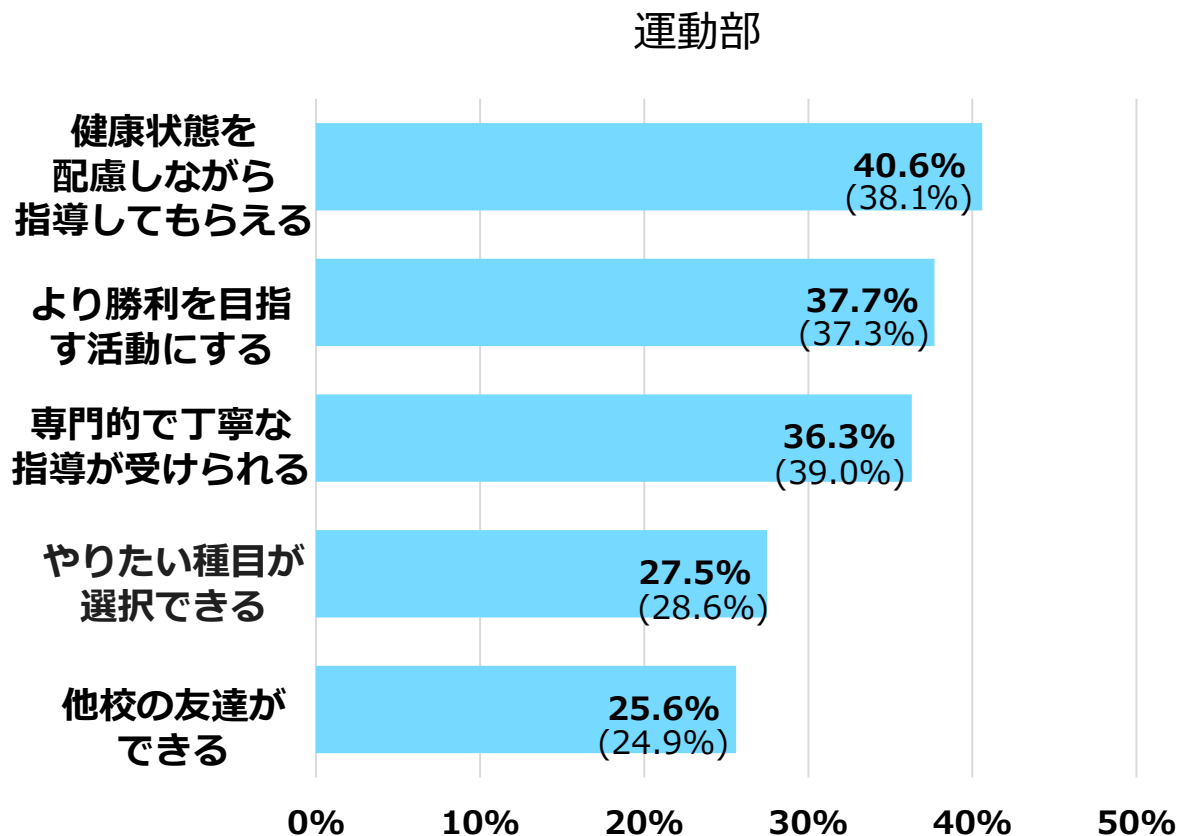
テーマ2：新たな地域クラブ活動の実現に向けて

■ 同じ地域で、別の学校の生徒と文化スポーツ活動を一緒にしたいと思いませんか？



テーマ2：新たな地域クラブ活動の実現に向けて

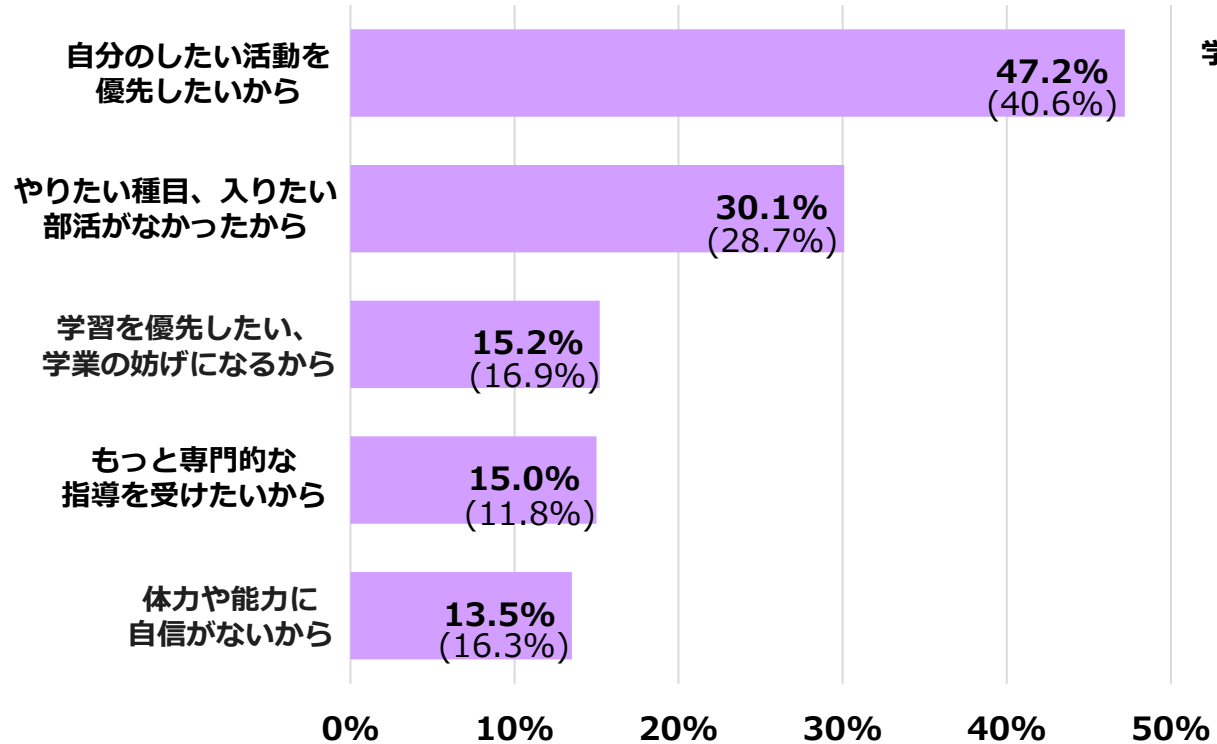
- どんな文化スポーツ活動なら、より満足できるものになると思いますか？
(3つまで回答可)



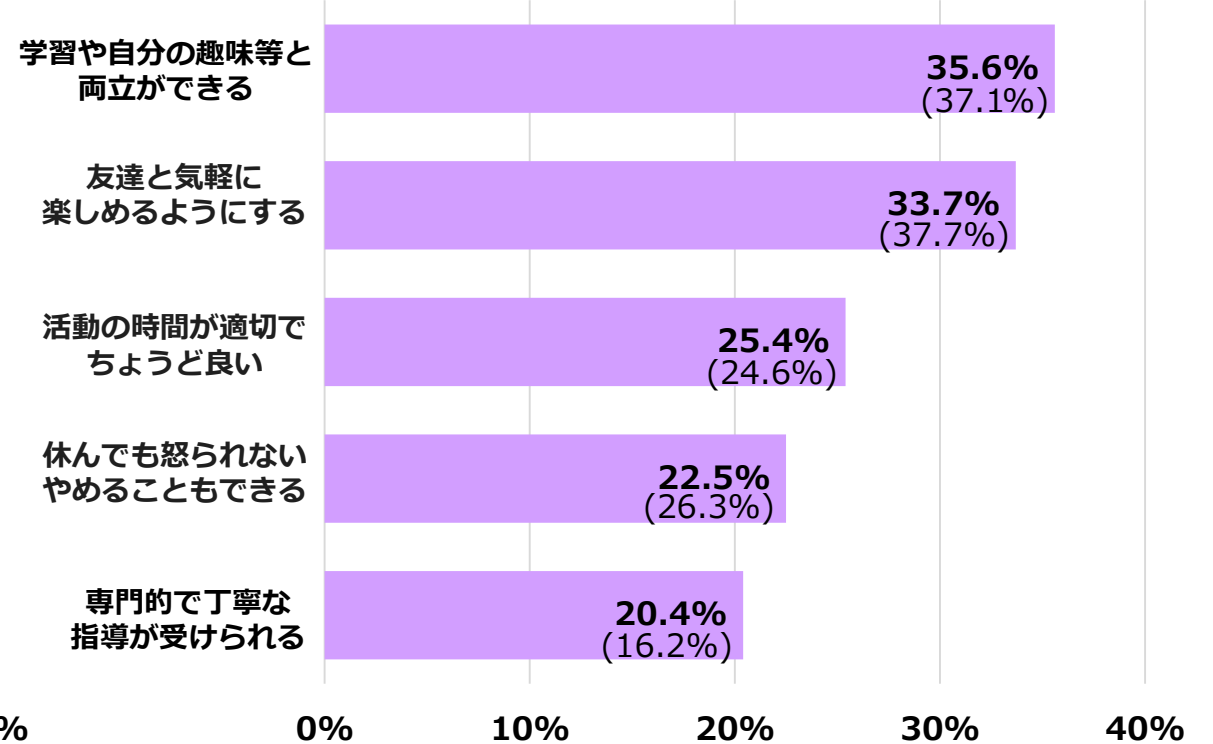
テーマ2：新たな地域クラブ活動の実現に向けて

■ 部活動に入っていない生徒（全体の約12%）の意見

部活動に入らなかった理由



どんな活動なら入りたかったか？



() は全国データ

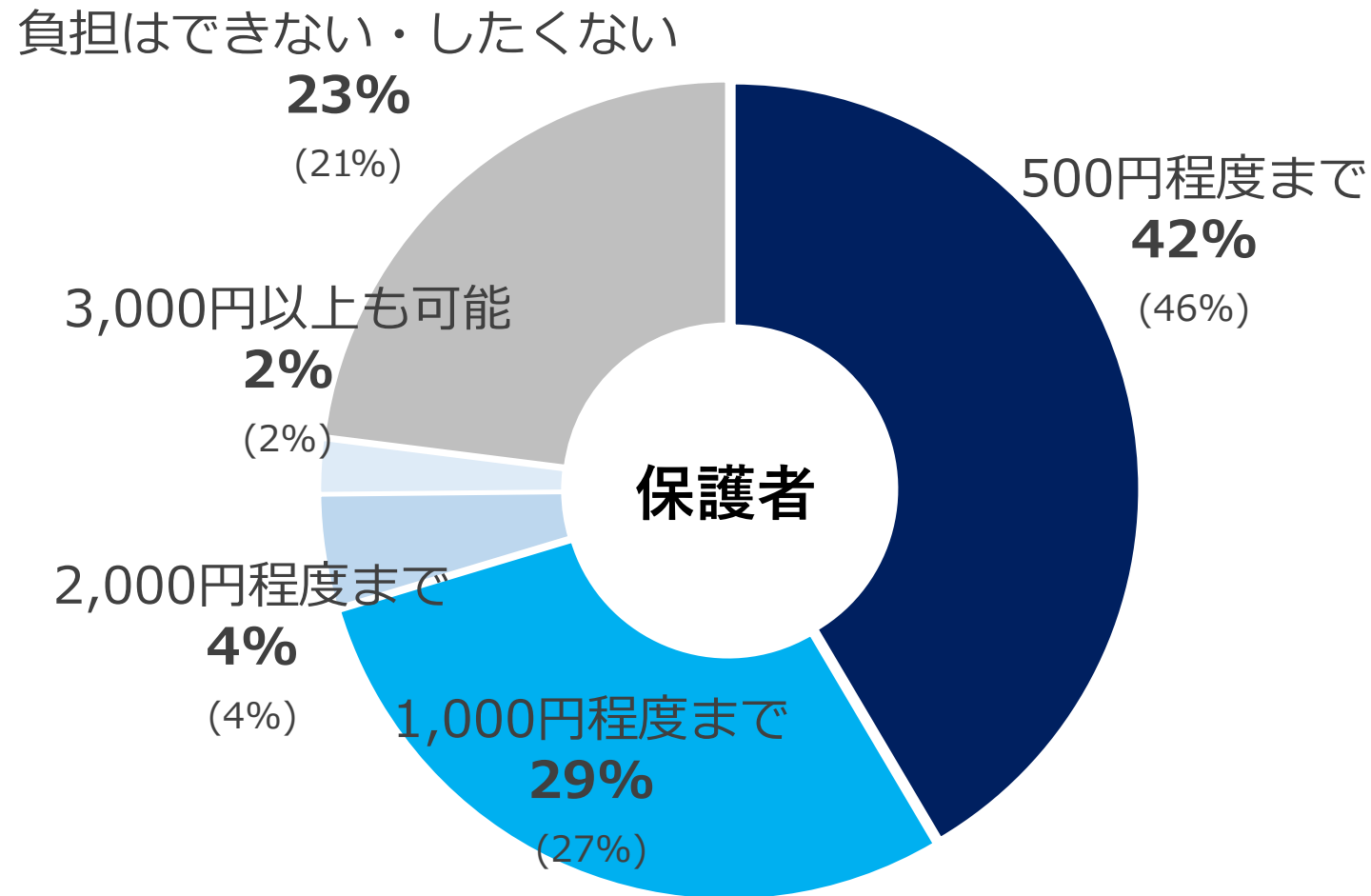
テーマ2：新たな地域クラブ活動の実現に向けて

■ 今行っている部活動の種目以外に、どんな活動をやってみたいですか？（最大3つまで）

	競技・種目	人数	割合		競技・種目	人数	割合
1	バドミントン	387	8%	11	卓球	192	4%
2	バスケットボール	323	6%	12	ソフトテニス	191	4%
3	サッカー	272	5%	13	弓道・アーチェリー	178	3%
4	釣り	268	5%	14	ボウリング	176	3%
5	eスポーツ	240	5%	15	職業体験	154	3%
6	バレーボール	212	4%	16	スキー・スノーボード・ スケート・アイスホッケー	153	3%
7	野球	203	4%	17	楽器演奏 (吹奏楽、ギター等)	153	3%
8	料理・お茶	198	4%	18	動画編集	148	3%
9	水泳	196	4%	19	陸上・駅伝	138	3%
10	体操・新体操・ダンス	196	4%	20	美術（絵画・彫刻等）	116	2%

テーマ2：新たな地域クラブ活動の実現に向けて

- 仮に、週一回（土日のどちらか1日）地域で文化・スポーツ活動が行われるとしたら、**1回あたりいくらくらいを負担できますか？**



テーマ2：新たな地域クラブ活動の実現に向けて

- 部活動の地域移行について、**生徒の約75%、保護者の約35%が「知らない」**
- **約80%の生徒が「地域で他校の生徒と一緒に活動したい」と回答**
- 部活動以外の地域の他の活動に「**参加したい**」と思う生徒は約45%
(約20%の生徒は「わからない」)
- より良い活動のためには「**健康への配慮・専門的指導・やりたい種目ができる**」
ことが求められている
- スポーツ・文化芸術活動の**多様な選択肢**を創っていく必要がある
- 保護者の1回あたりの負担額として**500～1000円程度**が適当

まとめ ～今後の部活動改革の視点～

- **子どもファースト**の改革
- 学校部活動の「良さ・魅力・価値」の継承
- **多様な活動の選択肢**（目的・活動量・種目等）の確保
- スポーツ・文化芸術をとおした「**人づくり**」「**まちづくり**」

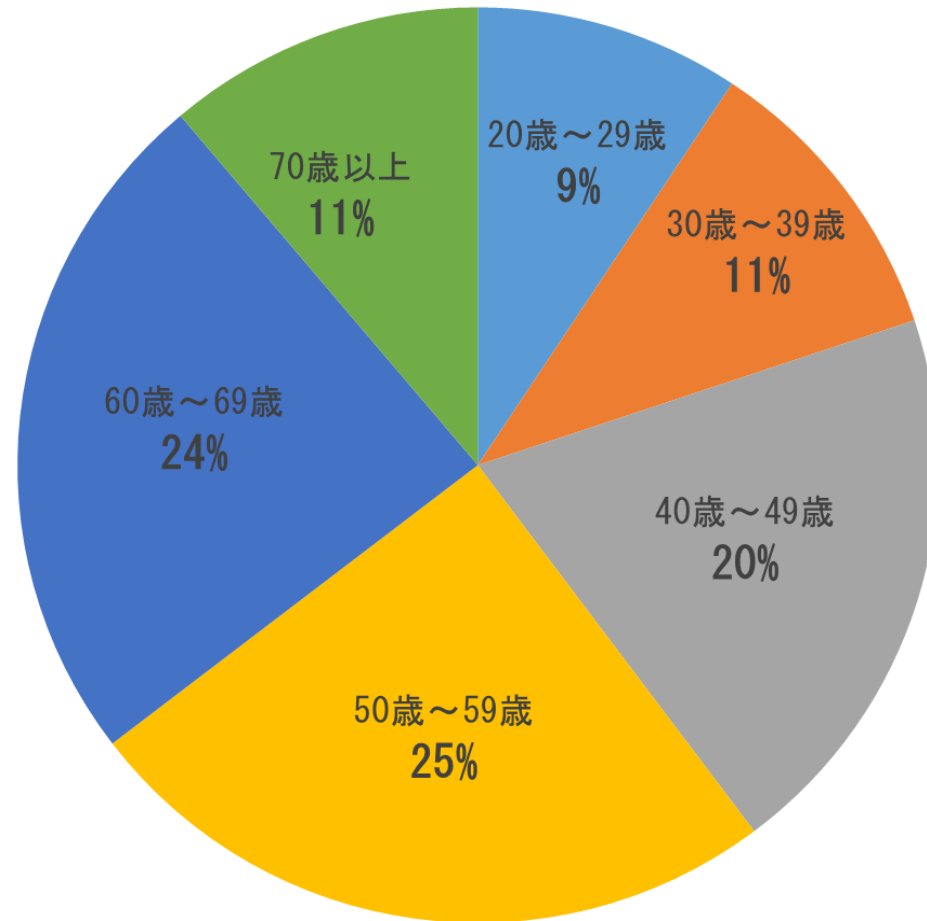
部活動の地域移行にかかる 競技団体アンケート 調査結果について

アンケート対象

- ▶ 期間 : 令和5年7月20日～令和5年9月15日
- ▶ 対象 : 姫路市スポーツ協会、姫路市スポーツ少年団及びスポーツクラブ21とその加盟団体に所属する指導者、競技者（未成年は除く）
- ▶ 回答数 : 161名
- ▶ 無記名方式

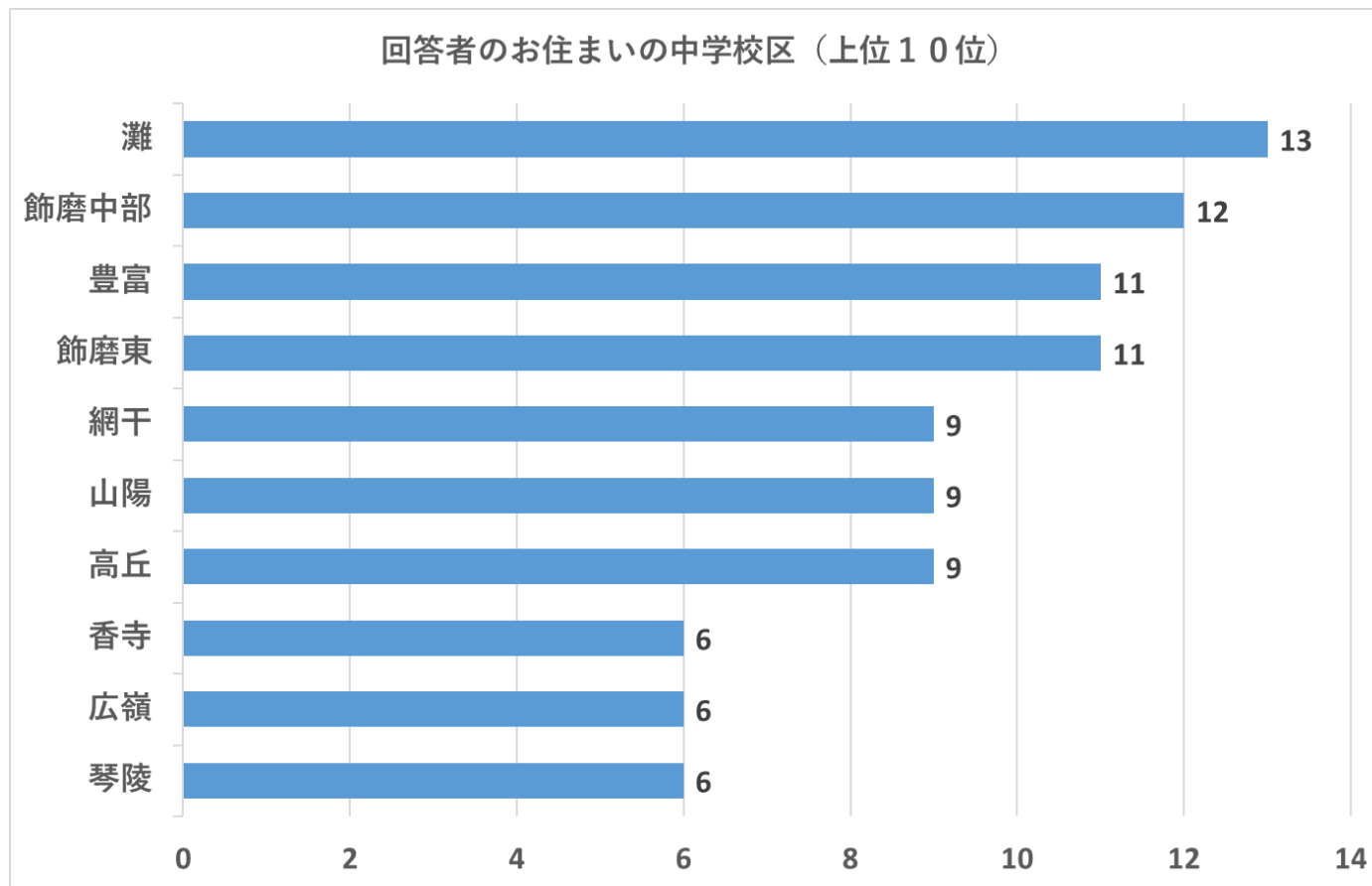
テーマ1 アンケート回答者について

■Q：あなたの年齢についてお伺いします



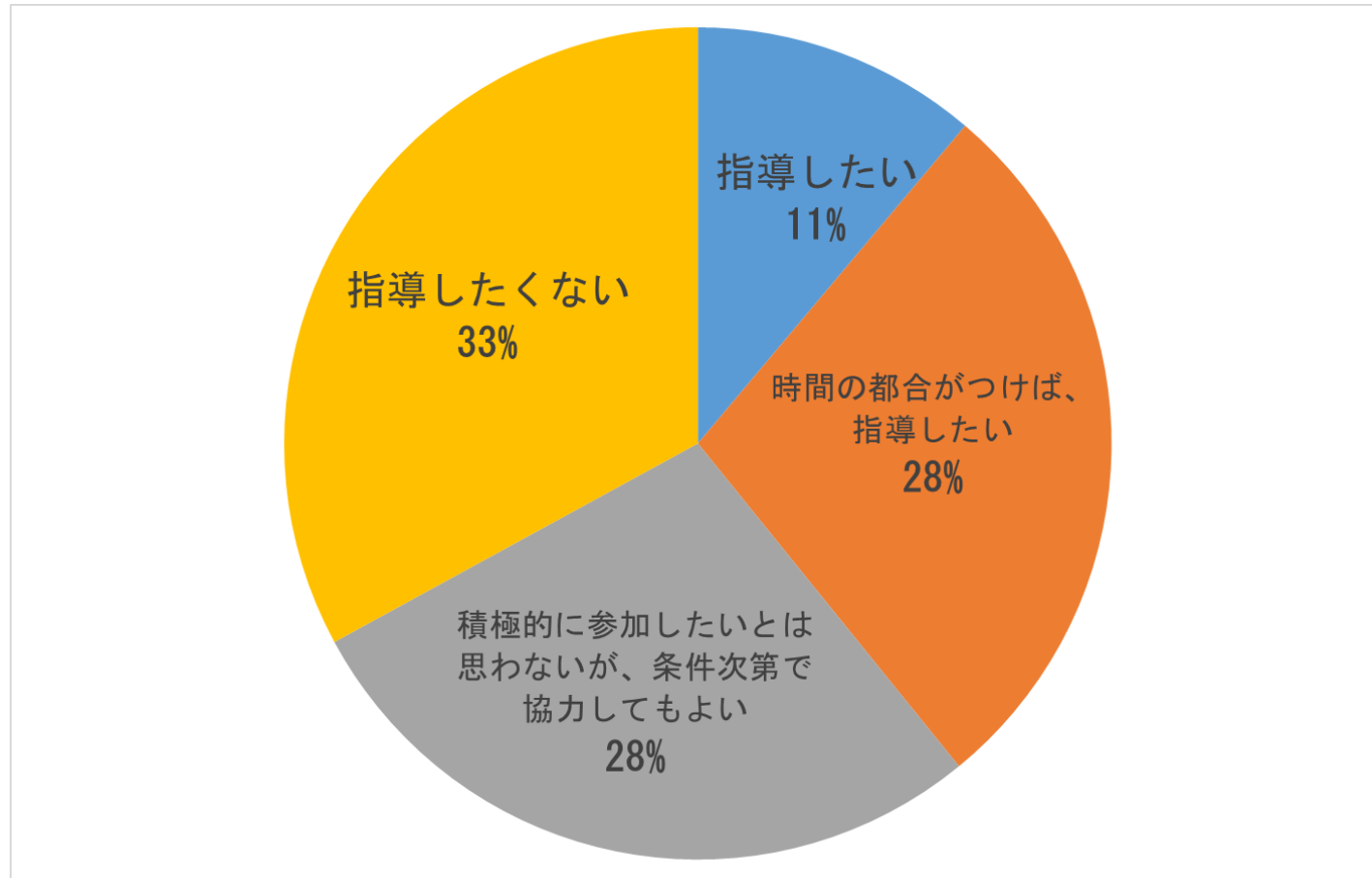
テーマ1 アンケート回答者について

■Q：あなたのお住まいの中学校区についてお伺いします。



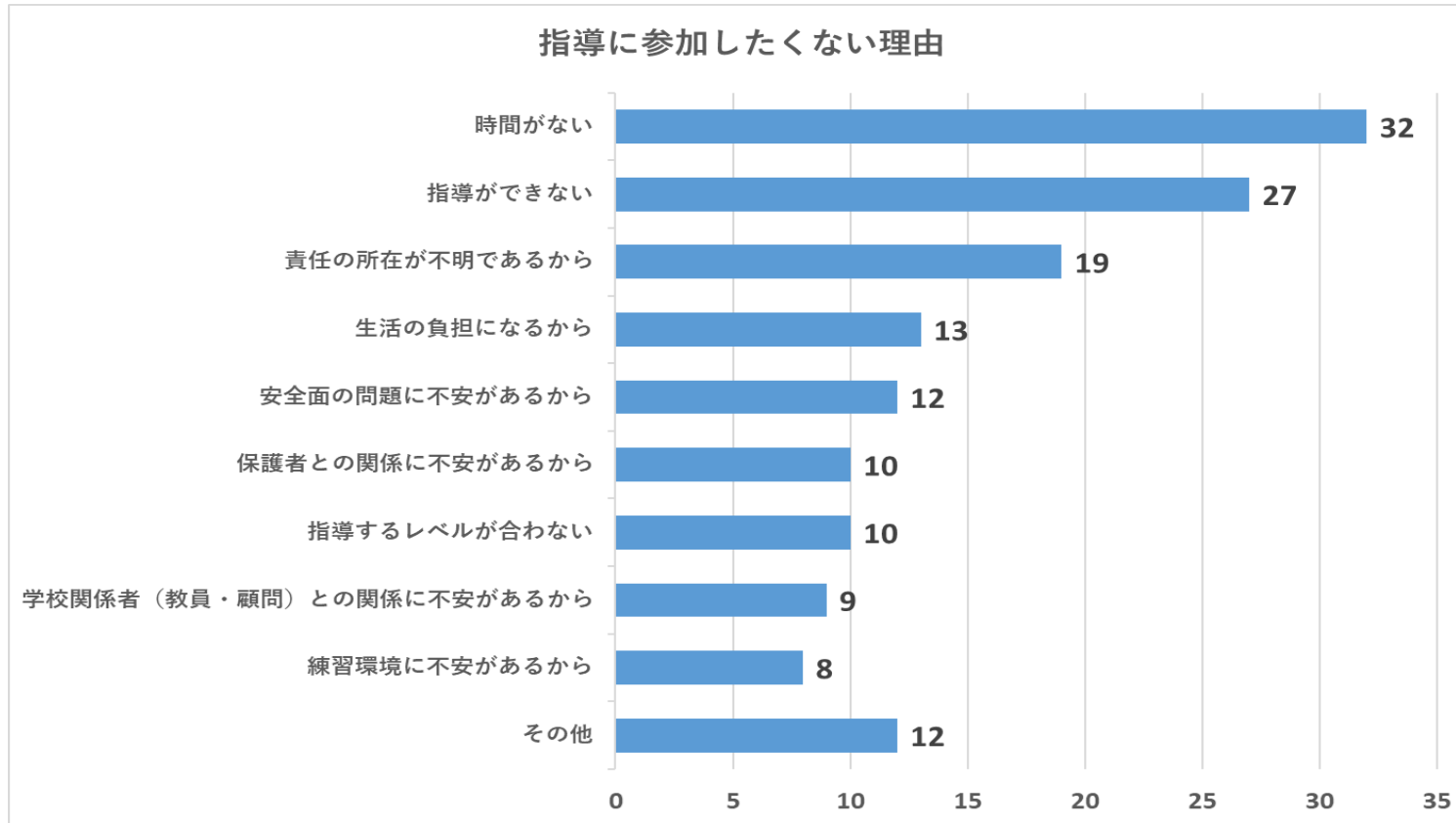
テーマ2 指導の意思について

■Q：部活動やクラブチームにおいて中学生の指導者として指導したいと思いますか。



テーマ2 指導の意思について

■Q：中学校における部活動の指導に参加したくないと回答した方に理由をお伺いします。（複数回答可）



【その他の理由】 ・生徒との関係に不安がある ・報酬が見込めない
・年齢面で体力に不安がある ・指導に教育的側面が必要になることが想定される

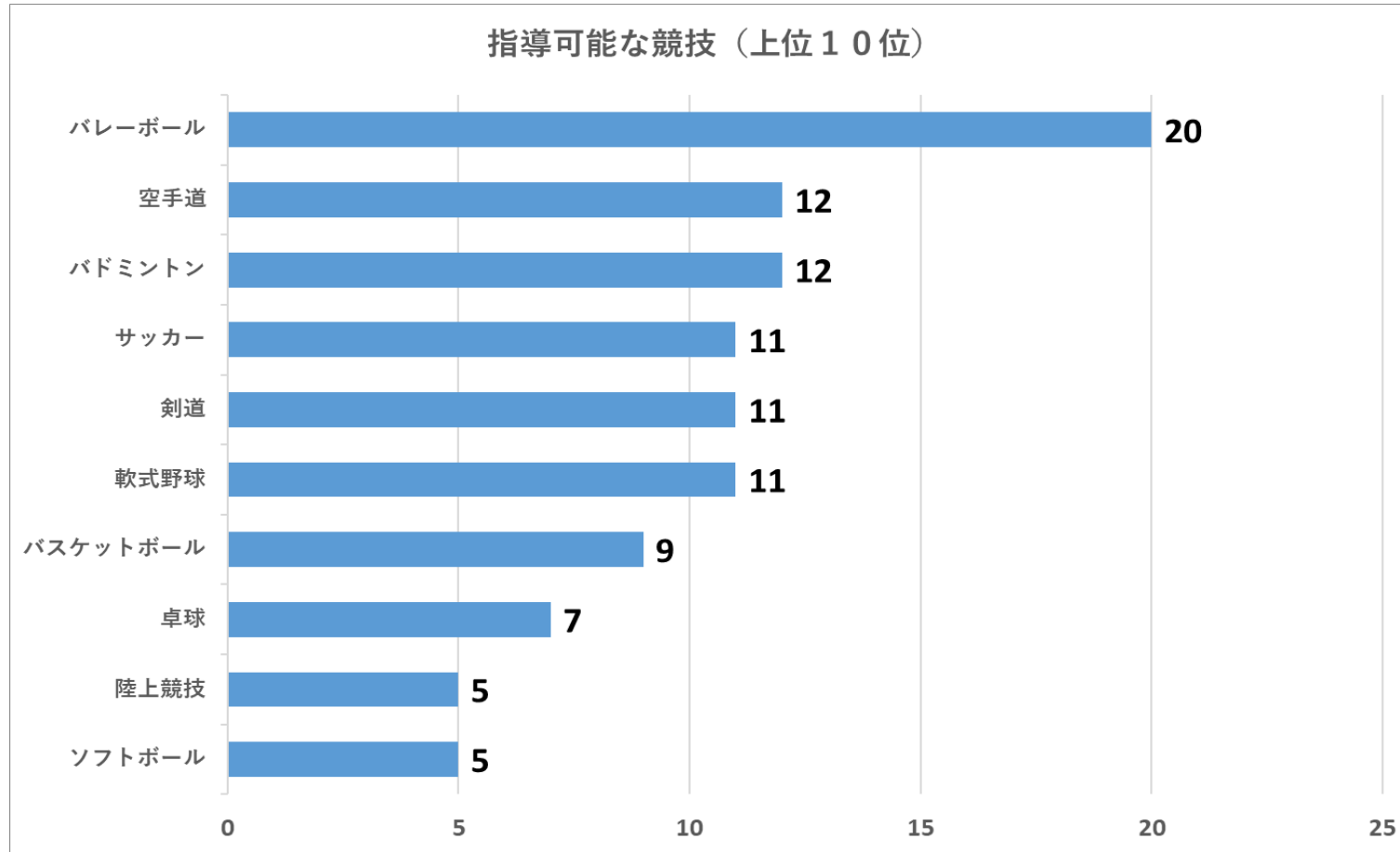
テーマ2 指導の意思について

- ▶ 本アンケート回答者の3分の2が、中学生の指導に協力してもよいと考えている。
- ▶ 指導に参加したくない理由としては、「時間がない」、「生活の負担になる」など、指導者の生活環境に関するものが上位を占めたが、他に「責任の所在が不明」、「安全面の問題に不安がある」など、指導環境に関する理由も多かった。

→指導者が安心して指導を行える環境を整えることが重要

テーマ3 指導可能な競技について

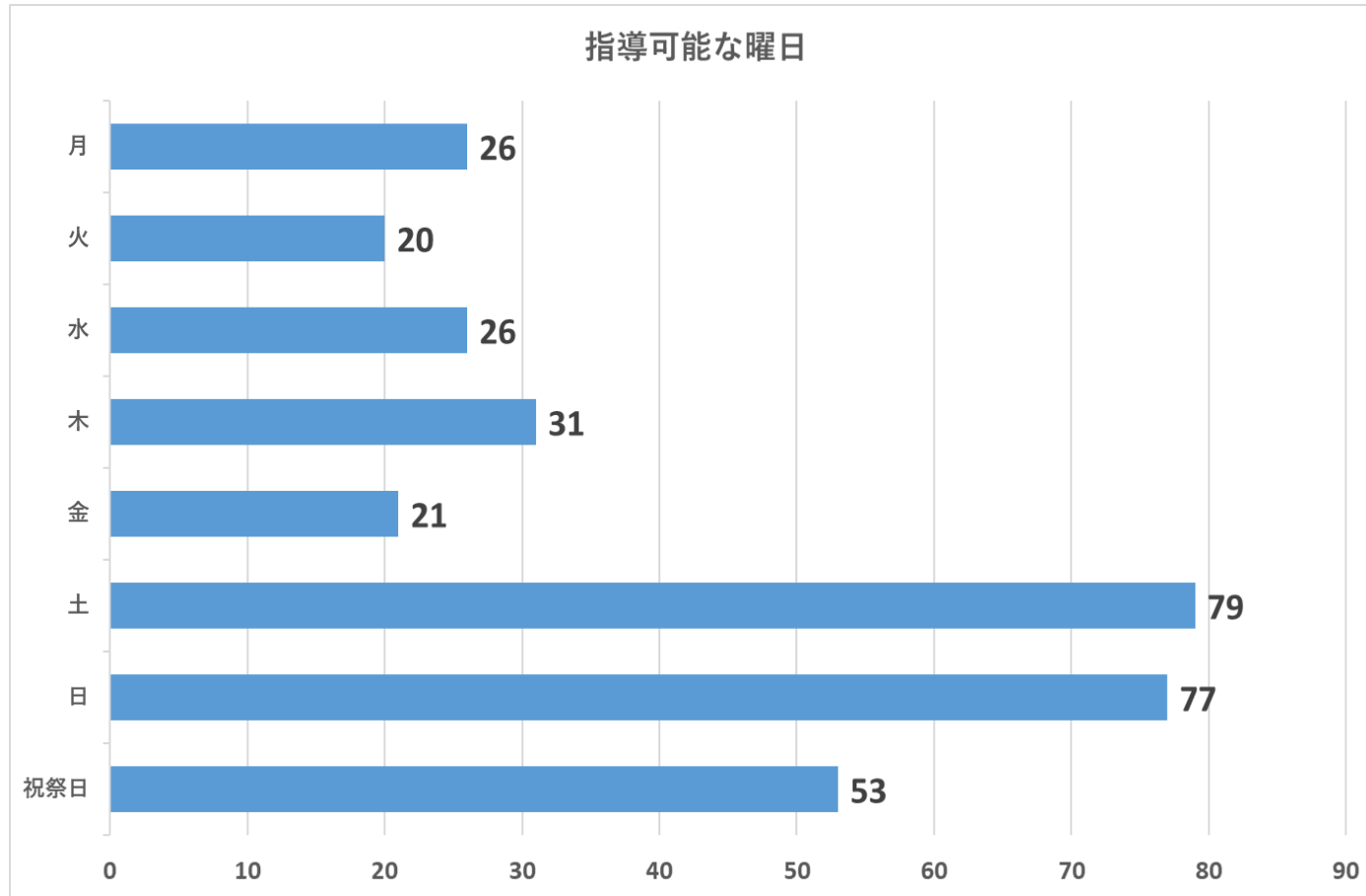
■Q：指導可能な競技についてお伺いします。（複数回答可）



指導可能な競技が「なし」との回答も多かった。

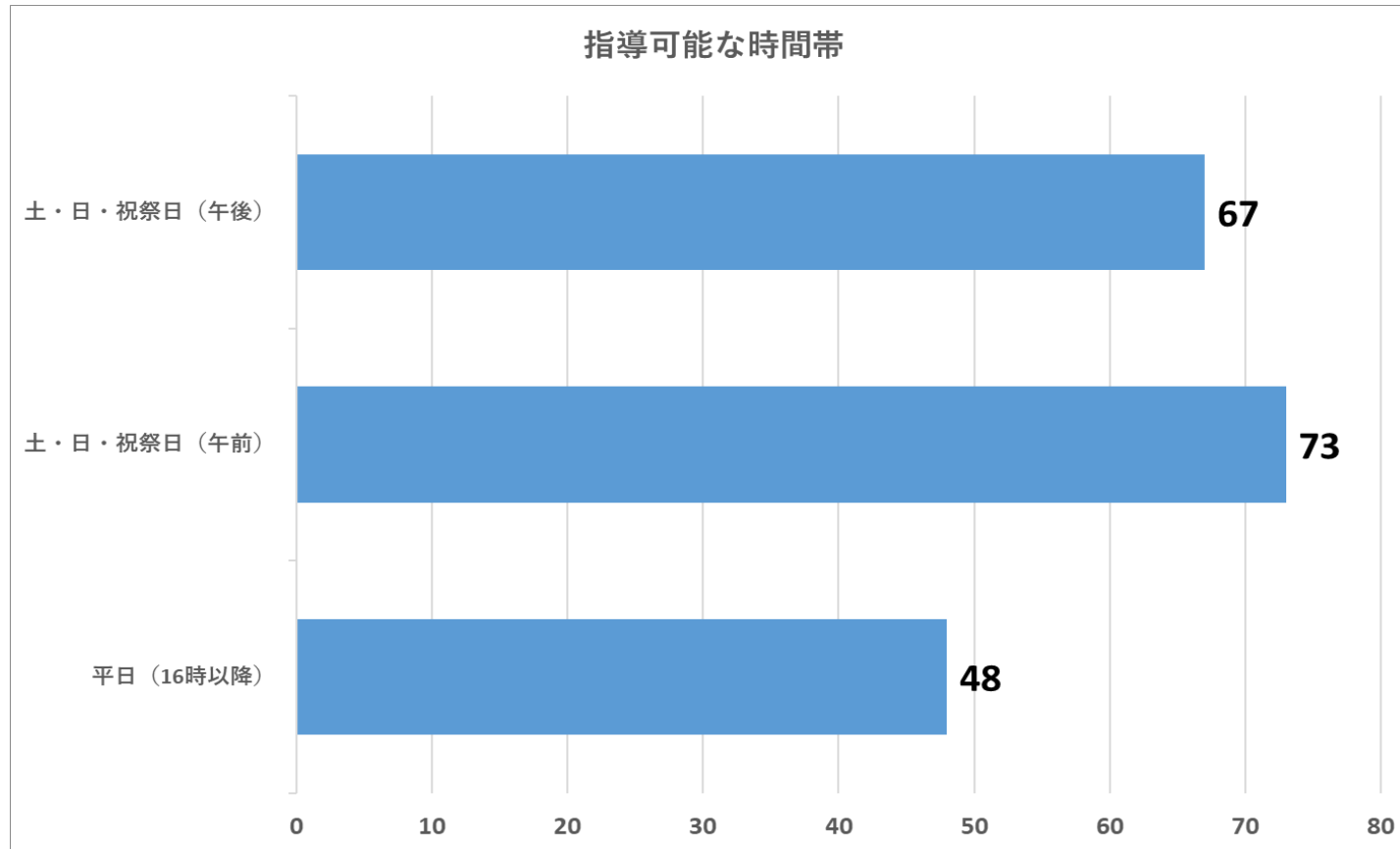
テーマ4 指導可能な日時について

■ Q : 指導可能な曜日についてお伺いします。(複数回答可)



テーマ4 指導可能な日時について

■ Q：指導可能な時間帯についてお伺いします。（複数回答可）



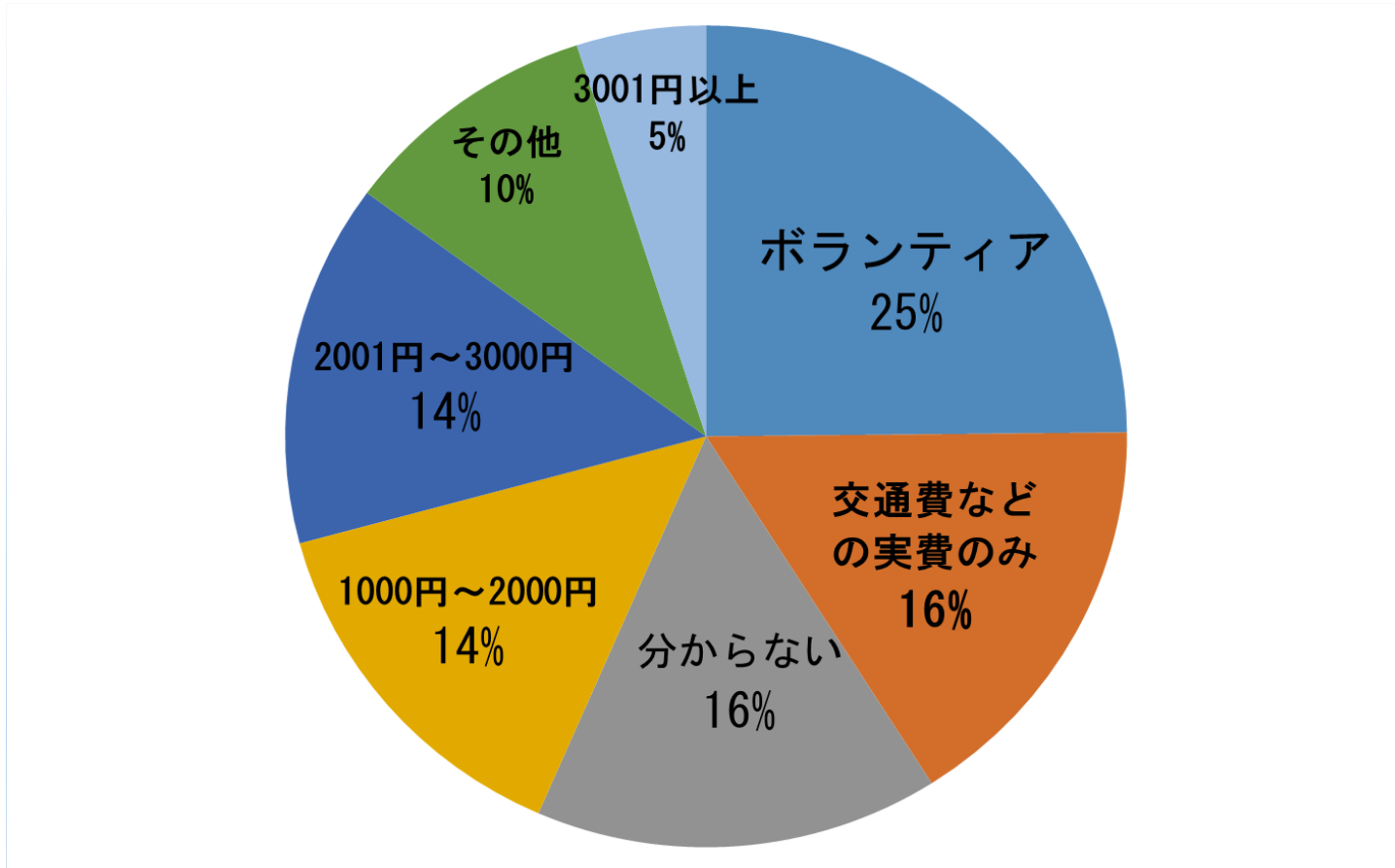
テーマ4 指導可能な日時について

- ▶ 指導可能な曜日については、土日が最も多かった。
- ▶ 主に部活動が行われる、平日16時以降については、都合がつかない者が多い。
- ▶ 「仕事が終わった18時以降なら指導可能」、「たとえ指導できても、毎週は厳しい」という意見もあった。

→ まずは土日の部活動について、地域移行を進めていく

テーマ5 報酬について

■Q：部活動を指導する場合に希望する、一時間当たりの報酬の価格帯をお教えてください。



【その他】 ・ 1500円以下 ・ 1日1000円から3000円に交通費・飲料代 ・ 指導したくない
・ 指導の内容、レベルにもよるので単純に時間当たりの報酬では表せない

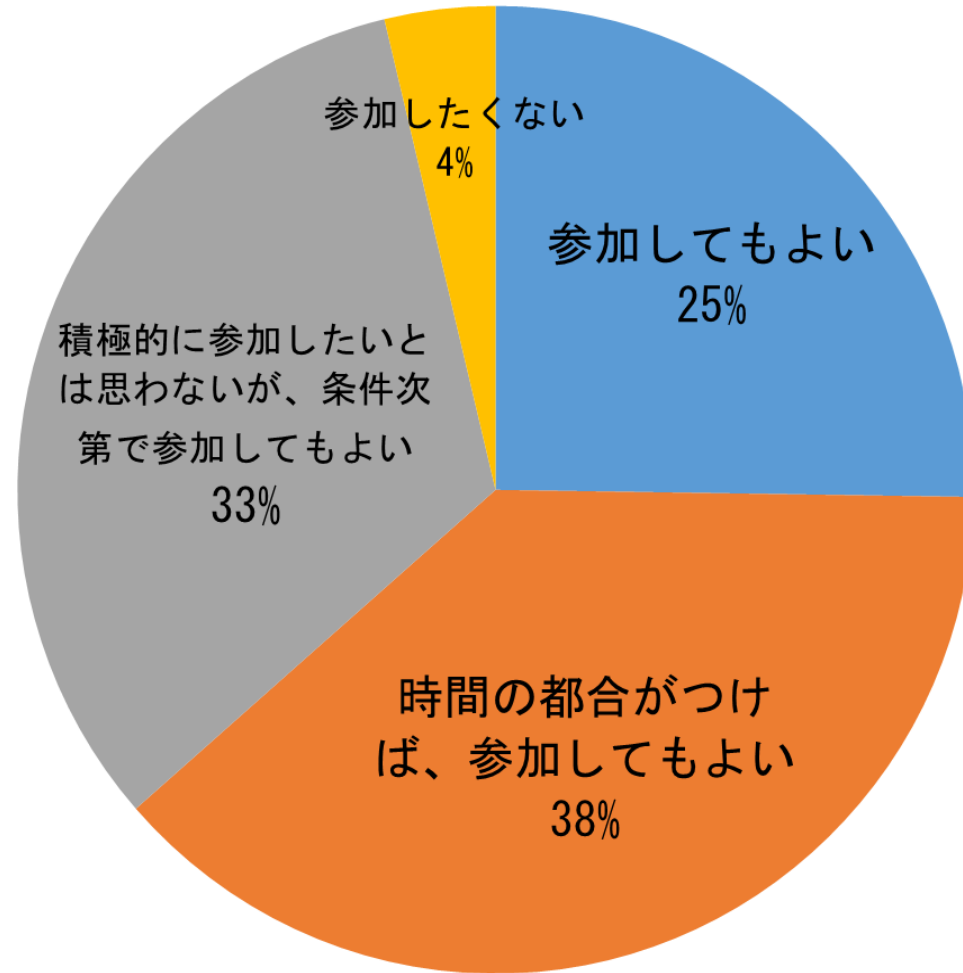
テーマ5 報酬について

- ▶ 「ボランティア」や「交通費などの実費のみ」が適切であるという意見が4割程度あった一方、一定の報酬を得て指導すべきであるという意見も3割程度あった。

→ 報酬については、どのような形態が適切なのか、今後も議論が必要

テーマ6 研修や講習会等について

■Q：中学生の指導に当たり、研修や講習会等の参加意向をお答えください。



テーマ6 研修や講習会等について

- ▶ 95%以上が研修や講習会等に参加してもよい、と回答している。

→ 部活動地域移行というテーマへの関心が高いことがうかがえる

結果のまとめ

- ▶ アンケート回答者のうち、2/3が中学生を指導したい、又はしてもよいと思っている。
- ▶ 指導に参加したくない理由として、「指導ができない」も上位にあがっており、教育的な側面を踏まえた指導ができるかどうか、自信がない者が多いことも伺える。
- ▶ 平日に指導可能な者は、休日と比較して少なくなっており、平日の部活動の地域移行を進めていくにあたっての今後の課題となることが想定される。
- ▶ 指導する際の報酬については、意見が分かれており、今後も議論が必要。

→指導者確保と人材育成が中学校部活動地域移行にかかる大きな課題の1つとなっていることから、関係機関と協議しながら検討していく